

お母さんが

「子どもがいるから出張は行かなくていいよ」

と言われて悔しかったと話してくれました。

私とお父さんと二人で

家事も、弟の世話も、できるのに……。



働く母、の悔しさへの共感が読み取れるつぶやきです。近年、働き方に係る制度は徐々に改善される一方で、職場カルチャーはなかなか変わらない！というアンマッチに、働きやすさへの配慮が、ある人にとっては、働きがい削がれる制限になることも……。ということが起こっています。

固定的な性別役割分担意識が反映される慣行によって、例えば、あなたが働く母として一括りにされるとき、あなたの暮らしのありかた、あなたの中の多様性（ダイバーシティ）が見えなくなり、個人としての能力発揮が阻まれてしまいます。

このお母さんは、「女性が働くということのリアルを伝えたいから」と、折節のできごとや思いについて女の子と語り合うそうです。

親は、子どもたちにとって、最も身近なロールモデル……。大人たちの働く姿は、次世代の子どもたちにどのように映っているのでしょうか？